

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	生涯学習課	施策主管 課長名	藤原 睦
	施策No.	2	施策名	先人の顕彰	施策の 目指す姿	郷土の先人の功績を理解しています	関係課名	賢治まちづくり課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に誇りを持つ後継者づくりと人材育成のため、子ども達が先人に関わる機会の充実が求められています。 ・先人の顕彰や新たな先人の掘り起しなど、それらを系統立てて紹介することが課題となっています。 ・宮沢賢治生誕の地として、市内外のより多くの人に宮沢賢治やその作品に触れていただくために、市民や団体との協働による継続した取り組みが必要です。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

・宮沢賢治、新渡戸稲造、萬鉄五郎、高村光太郎などの著名な先人と花巻のかかわりを、今まで以上に内外に発信するとともに、埋もれている郷土の先人を発掘し、顕彰活動を展開する。

（反映状況）

・花巻市のHPにイベント情報を掲載し、連携するSNSにもリンクさせて情報発信に努めた。また共同企画展などを通じて郷土の先人を発掘・紹介するなど顕彰活動に努めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 郷土の先人に対する理解の促進

○先人顕彰施設の展示内容や企画展の充実

・共同企画展、先人顕彰ギャラリーの開催

○市民講座、セミナー等の開催

・教育普及事業（花巻新渡戸記念館）、高村光太郎記念館講座の開催

○先人顕彰施設の環境整備

・花巻新渡戸記念館整備事業（屋根及び排煙窓改修）

(2) 賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進

○賢治関連施設の環境整備

・宮沢賢治イーハトーブ館（外壁改修設計・工事）

○賢治さんを感じることができる場の充実

・賢治を学ぶ場づくり（宮沢賢治賞・イーハトーブ賞）、賢治アートストリート

○賢治関連催事の充実

・「賢治の世界」セミナー、「賢治の世界」ワークショップの開催

・宮沢賢治生誕全国俳句大会、全国高校生童話対象、宮沢賢治創造演劇公演、賢治フェスティバル、「土に叫ぶ人 松田甚次郎～宮沢賢治を生きる～」花巻公演

○賢治関連情報発信の充実

・賢治カレンダーの発行

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合	郷土の先人の功績を理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れたり、イベントに参加している状況を示す指標	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、昨年1年間に市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントにさんかしたことがありますか？ (1)ある(2)ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値	32.0	34.0	36.0	32.0	34.0	36.0
				実績値	32.6	30.0	29.6	30.4	32.7	
日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合	賢治さんの香りあふれるまちづくりの事業成果が市民に享受されているかを示す指標	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたの身近に、宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思いますか？ (1)十分あると思う(2)あると思う(3)あまりないと思う(4)ないと思う(5)ないと思う(6)ないと思う (1)及び(2)と答えた市民の割合	%	目標値	62.0	64.0	65.0	66.0	67.0	68.0
				実績値	58.1	63.0	62.2	63.6	59.7	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「この1年間に宮沢賢治記念館等の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合」・・・【達成度b】</p> <p>・目標値には届かなかったものの、実績値は前年度比2.3ポイント増加した。これは、宮沢賢治関連施設に関しては、各館のコンセプトを明確にし連携を図っていることから、広く市民等に利用されていると思料している。一方、新渡戸記念館では、アンケート等を通じて、知名度の点に劣っているのではないかと分析している。</p> <p>■成果指標「日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合」・・・【達成度c】</p> <p>・事業を継続実施するうえで、参加者が固定的になっている事業や情報発信が不十分な事業があり、実績値が前年度比3.9ポイント低下したと分析している。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
1-1	賢治のまちづくり推進事業 賢治を学ぶ場づくり(宮沢賢治賞・イーハトーブ賞)、賢治イベントの開催(7回)、賢治の香りあふれるまちの整備(賢治アートストリート)、賢治情報の発信(賢治カレンダーの発行)	賢治まちづくり課	一致	直結	C
			A		
1-2	賢治のまちづくり推進事業 賢治セミナーの開催(6回)	生涯学習課	一致	直結	C
			A		
1-3	賢治のまちづくり推進事業 「賢治の世界」セミナーの開催(17回)、「賢治の世界」ワークショップの開催(8回)、特別展の開催(3回)	宮沢賢治記念館	一致	直結	A
			A		
2	先人顕彰推進事業 共同企画展(萬鉄五郎記念美術館、花巻新渡戸記念館、花巻市博物館、花巻市総合文化財センター、高村光太郎記念館)の開催(5回)、先人顕彰(「イーハトーブの先人たち」(共同企画展関連)及び「花巻の文人」)ギャラリー	生涯学習課	一致	直結	B
			A		
3	宮沢賢治普及・啓発事業 宮沢賢治学会イーハトーブセンターの支援、企画展の開催(3回)	宮沢賢治イーハトーブ館	一致	直結	B
			A		
4	新渡戸記念館企画展示事業 特別展の開催(3回)、教育普及事業(「出前講座」、「新渡戸教室」等)開催	花巻新渡戸記念館	一致	直結	C
			A		
5	高村光太郎記念館企画展示事業 企画展(「光太郎と花巻電鉄」、記念館講座(「光太郎の食卓と星降る里山を楽しむ」、「光太郎の食卓と実りの秋を楽しむ」)の開催	生涯学習課	一致	直結	B
			A		
6	宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 宮沢賢治イーハトーブ館 外壁改修設計・工事	宮沢賢治イーハトーブ館	一致	直結	-
			A		
7	新渡戸記念館整備事業 花巻新渡戸記念館 屋根及び排煙窓の改修	花巻新渡戸記念館	一致	直結	-
			A		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・賢治のまちづくり推進事業(賢治まちづくり課分)は、参加者が固定的になっている事業や情報発信が不十分な事業があることにより、成果指標の実績が低下したと分析していることから、事業内容やPR活動の見直しが必要である。</p> <p>・賢治のまちづくり推進事業(生涯学習課分)は、前年度の受講生の意見や、当該年度のプログラム案への意見を関係団体から聴取した結果、充実したプログラムとなった半面、受講生の多くが継続的に申し込まれたものの新規受講生はそれほど多くなかったことから、新規受講生の参加を促す方策が必要である。</p> <p>・新渡戸記念館企画展示事業は、アンケート調査によると、展示内容及び施設環境には肯定的な意見が多いにもかかわらず、知名度の点において劣っているのは否めないため、今後、市内外に対して様々な媒体や機会をとらえてPRしていく必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・賢治まちづくり推進事業では、参加者や受講生が固定化／継続化している傾向にあることや情報発信が不十分であることから、成果指標の実績が低下していると分析しているため、事業内容やPR活動の見直しが必要である。
- ・新渡戸記念館企画展示事業では、アンケート調査では、展示内容及び施設環境には肯定的な意見が多いが、知名度が劣っているという分析がなされていることから、市内外に対して様々な媒体や機会をとらえてPRしていく必要がある。なお、積極的なPRは、新渡戸記念館のみならず市内全般の先人顕彰施設でも連携して行う必要も感じている。

(今後の方向性)

- ・賢治まちづくり推進事業では、新たな受講生を獲得するために、内容を吟味し事業を再構築する。
- ・新渡戸記念館企画展示事業では、知名度が劣っているという分析がなされていることから、SNS等を活用するなど、広報誌以外でのPR活動を増やす。併せて他の先人顕彰施設とも連携してPR活動を行う。